Library Liébana

2022年2月度展示内容のお知らせ

【今月のﾍﾞｱﾄｩｽ写本】

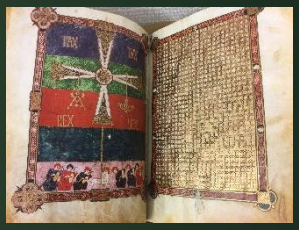
（マドリード写本）

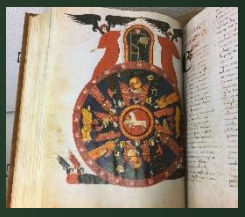
（サンースヴ゛ェール写本）

（エスコリアル写本）

ベアトゥス写本の系統Ⅰに属する写本です
ﾏﾄﾞﾘｰﾄﾞ写本　　10世紀中頃
ｴｽｺﾘｱﾙ写本　　10世紀末ごろ
ｻﾝ･ｽﾍﾞｪｰﾙ写本　11世紀中頃

【特別展示】

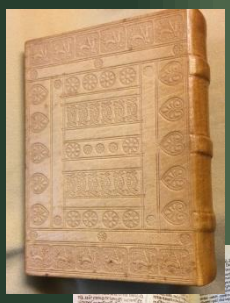


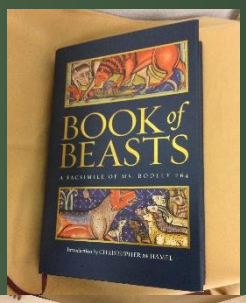


ﾌｧｸﾝﾄﾞｽ写本
（ﾌｪﾙﾅﾝﾄﾞ1世と王妃ｻﾝﾁｬのﾍﾞｱﾄｩｽ写本）

系統Ⅱaに属する写本で1047年に完成した。
ﾌｧｸﾝﾄﾞｩｽは写字･挿絵師。

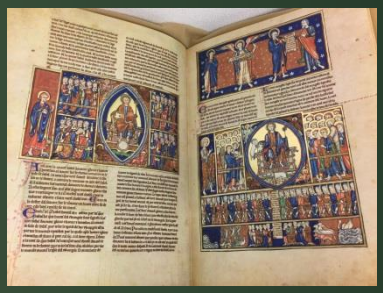
【今月の中世写本】





新約聖書(Vat. Lat. 29：左)と
けものの書(Ms. Bodley 764：右)

【今月の黙示録写本】



（ﾄﾘﾆﾃｨ黙示録写本）

（ﾊﾞﾗﾝｼｴﾝﾇ黙示録写本）

・ﾄﾘﾆﾃｨ黙示録写本
　（13世紀中頃　ｲｷﾞﾘｽ又はﾌﾗﾝｽ）
・ﾊﾞﾗﾝｼｴﾝﾇ黙示録写本
　（9世紀初頭 ﾌﾗﾝｽ又はドイツ）

ファクシミリ本でみるスペイン黙示録の世界
中世彩色写本を紹介

ファクシミリ本とは：
オリジナル写本の大きさや色を再現。
特に羊皮紙の厚みやしわも忠実に
再現した複製本も多数展示しています。

愛知県豊田市西町5丁目5
VITS豊田タウン　B1F
毎週日曜日　11:00～17:30
H.P.

2月の開館日(予定)
日・水・木・金曜日
（HPで確認下さい）

2月

日	月	火	水	木	金	土
30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12

ベアトゥスの黙示録註解書写本について

中世初期のイベリア半島北部アストゥリアス地方のリエバナにある修道院の修道士、ベアトゥス(ベアトBeato ？-798)が776年に「ヨハネの黙示録註解書」を編纂しました。原本は既に存在していませんが、非常に人気を博し、10世紀から12世紀にかけて多くの写本がイベリア半島はもとよりフランスやイタリアなどで制作されました。ほとんどの写本には、彩色された挿絵が多数描かれており、その鮮やかな色使いと想像力豊かなインパクトの強い挿絵が後世にながく影響を与えてきました。

これまでに発見されたベアトゥス写本のうち、挿絵入りのものは29 写本あり、そのうち完本の写本は22写本、断簡の写本が7写本あります。
本ライブラリーには完本22写本のうち19写本のファクシミリ版があります。 ファクシミリ版の中には羊皮紙の厚みやシワ・汚れ・破れ・落書き、製本様式や装丁などをそのまま再現した精巧なものもあります。
1000年近く前に作成された写本の当時の雰囲気を味わってください。

今月のﾍﾞｱﾄｩｽ写本

系統Ｉの9写本から4写本を紹介します。それぞれが特徴のある写本群です。

【マドリード写本】

同様10世紀半ばころ(930-950頃)にレオン州で制作されたと推定。こちらは写字生の名前は不明。損傷・脱落が多く141葉の羊皮紙に27点の挿絵が残っている。当初は挿絵にフレームがない描かれ方だったと思われる。マドリードの国立図書館が所蔵。

【エスコリアル写本】

10世紀末ごろ、リオーハのｻﾝ ﾐｼﾞｬﾝ ﾃﾞ ﾗ ｺｺﾞｰﾘｬ修道院で制作されたと推測。

縦 335 横 225 と小ぶりな写本。151葉の羊皮紙に52点の挿絵が描かれています。全頁大の挿絵はｱﾀﾞﾑとｲﾌﾞを描いたもののみ。

【サン-スヴェール写本】

1028-72年の間に、ピレネー山脈北部のフランスで制作された。スペイン外で制作された数少ないﾍﾞｱﾄｩｽ写本の一つです。ほかとは違った独特の挿絵が102点展開されています。

【サン ミジャン写本（コゴーリャ写本）】

10世紀半ばころと12世紀第1四半期とに分けて制作された写本。49点の挿絵がありますが、途中から挿絵の画風が大きく変わっています。

【ファクンドゥス写本】

新しくVersol版ファクシミリ本を展示します。

1047年にフェルナンド1世とサンチャ王妃に献呈された写本。 写字・挿絵をおこなったﾌｧｸﾝﾄﾞｩｽの名から「ﾌｧｸﾝﾄﾞｩｽ写本」と呼ばれています。

全312葉の写本は残存するベアトゥス写本の中で最も葉数が多い写本で、98の美しい挿絵が描かれています。

今月の黙示録写本の挿絵

【ヴァランシエンヌ黙示録写本】

9世紀初頭(第1四半期)にフランスあるいはドイツで制作されたカロリングスタイルの黙示録写本で、トリーア黙示録写本とともに残存する最初期の挿絵入り黙示録写本。

42葉の羊皮紙に38の全頁大挿し絵が描かれています。
ﾌﾗﾝｽ北部のValenciennes市立図書館所蔵。

【トリニティ黙示録写本】

1230-1250にイギリス南部かフランス北西部で製作された大型の写本。

31葉の羊皮紙に100以上の挿絵が描かれています。
ｺﾞｼｯｸ書体のフランス語で書かれています。
トリニティ大学図書館蔵

初期の素朴な写本と中期の豪華な写本を見比べてください。

今月の中世彩色写本

【新約聖書】（New Testament Vat. Lat. 39）

13世紀前半に南イタリアでヴェネツィアの貴族ゾルツィ家のために製作されたと推測。 1481年にバチカン図書館が所蔵することになった。

１７２葉に１１８点の挿絵が描かれています。 挿絵は4福音書と使徒行伝・黙示録に描かれ、黙示録の挿絵が２６点と一番多く描かれています。

縦20cm 横15cm の小型の写本。ラテン語で書かれています。

【けものの書】（Ms. Bodley 764）

12世紀中頃から13世紀中頃にかけてｲｷﾞﾘｽで流行した挿絵付きのけもの図鑑の代表写本。陸上の獣・空を飛ぶ獣・海の獣に分けられて、それぞれ野生動物から空想上の幻想的な獣まで紹介されています。140匹以上の説明が135点の挿絵とともに描かれています。